



第82回 三聖地巡拝

崇高なる精神で日々の生活を生きる

第82回三聖地巡拝が4月1日から3日に挙行され、バス13台に分乗した全国の会員代表272名が尊者のご精神を体し、日本国民、五色人種の代表として各聖地を巡り、国恩報謝の誠を誓うと共に、世界平和への祈りを捧げた。



満開の桜に見守られながら岡野団長が奉告文を奏上し、巡拝が無事に完遂したことを報告した。

今回も昨年同様に、様々な新型コロナウイルス感染防止策が徹底された中での巡拝行となった。

前日から、全国的に冷えこみ、花冷えとなった1日は、伊勢神宮・外宮を参拝した。昨年同様、三密を避けるために結団式などは中止され、岡野英夫団長の挨拶の動画を各班毎にバス内にて視聴し、参加者らは巡拝の心構えを培った。

まず本部役員たち1班は外宮正宮にて御垣内参拝の後、奉拝の儀を行った。続いて、各班毎に参拝が行われた。

翌2日は、伊勢神宮・内宮を参拝。内宮正宮にて御垣内参拝の後、奉拝の儀となった。その後、密を避けるため、本部役員のみが神楽殿に昇殿し、特別大々神楽が奉納された。神楽奉納後、巡拝団は橿原神宮へ向かった。

橿原神宮では、同日から翌日にかけて行われる予定の奉祝行事で境内が賑

わう中、本部役員らは神職の誘導を受け、南神門にて手水を取った後、神職の先導により内拝殿に参進した。岡野団長による玉串奉奠、拝礼行事を行った後、神武天皇陵を参拝した。同神宮では、大阪松虫支部の永田秀次支部長はじめ会員有志が巡拝団へのお土産をバス毎に配布、真心からのもてなしに巡拝参加者から喜びの声があがった。

3日は、朝8時半から御寺泉涌寺・仏殿前にて、参加者全員が一堂に会しての朝礼が行われた。ご本尊に礼拝し、岡野団長が挨拶を述べた後、一同で月輪御陵に参進した。御陵奉拝の儀の後、霊明殿へ進み、岡野団長が表白文を奏上し、代表者によるご焼香、参加者全員で勤行を行い、皇祖皇霊に感謝の祈りを捧げた。続いて、挨拶に立たれた上村貞郎長老猥下は「今年の秋季大祭には御霊地で皆さんにお祝いのお言葉をお伝えしたいです。今日は小雨が降っ

ておりますが、本日は岡野聖法長老さまの祥月命日です。皆さんに清めの雨を降らされたように思います」とのお言葉を頂戴した。

その後、関西圏域の会員が見送る中、解脱金剛宝塔前へ参進。宝塔前の儀が行われ、無事に完遂できたことを金剛さまに報告した岡野団長は、「日本が世界に冠たる偉大な国家創建からの連綿とした命の伝承の中で培ってきた崇高な精神を世界各国の皆様方にお伝えをし、私たちもまた、自分たちの心の中にある崇高なる精神で日々の生活を生きて参りましょう」と述べた。

最後に、同日が祥月命日である岡野聖法長老の供養を厳修した後、法縁の寺である醍醐寺へ向かった。

醍醐寺では、金堂内にて今般の国難を無事に乗り越えられるように祈願する法要を営み、喜びの中で三聖地巡拝の全行程が終了した。(2面に写真)



渡辺孝彦顧問逝去される

渡辺孝彦本会顧問（前理事長）が、3月23日に霊界入りされた。享年78歳。

渡辺顧問は、昭和18年8月神奈川県川崎市に生まれた。会社経営に携わる一方、平成7年5月に母である渡辺光氏より川崎中島支部を継承。平成21年からは東京第7教区長に就いて教区の活性化に努められた。本部においても平成17年から本部教務員、監事、理事を歴任され、平成24年3月1日

より常任理事に就任。さらに平成29年1月から2年間に亘り、本会理事長の重責を担われた。

教えに対する強い信念を持ちながらも、分け隔てないその人柄と明瞭で分かりやすい講話や指導で、多くの人から慕われた渡辺顧問は、特に健康指導において、体位矯正法の創設者であり、父であった渡辺武氏の後を継ぎ、後進の育成、健康指導の広布など多大な貢献をされた。

写真で見る三聖地巡拝



荘厳な神域に触れて、国恩感謝の祈りを捧げる（伊勢神宮・外宮）



宇治橋を力強く参進する本部役員（伊勢神宮・内宮）



神武天皇に感謝の祈りを捧げ、国恩感謝の勤行（橿原神宮）



神武天皇の御聖徳を尊び厳かに勤行（神武天皇陵）



上村長老况下より心温まるご挨拶を頂く（御寺泉涌寺）



職衆による力強い法要が行われた（醍醐寺）

本部研修・青年コース

新たな人生へ向かって

3月22日から25日までの3泊4日、御霊地にて青年コースが開催され、全国より16歳から21歳の青年12名が集い、共に親交を深めながら研鑽を積んだ。また開催にあたっては、初日に全員が抗原検査を受けるなど、新型コロナウイルス感染症対策が徹底された。

初日は開講式の後、参加者の親睦を深めるため、青年本部事務局によるアイスブレキングが行われ、2班の班編成を行った。昼食後、三浦純教育部長より「み教えの基本」を講話から学んだ。その後、勤行・天茶供養・先達・太鼓の各作法を習い、研修最終日まで毎朝夕の勤行の際、各お役目を研修生が順に担当した。

2日目は、まず木崎成博教学出版部長より「金剛さま」をテーマに金剛さまの人柄と魅力を学んだ後、解脱金剛記念館において、金剛さまの存在をより身近に感じる時間が持たれた。午後は、藤原了

理事による特別講義となり「我が国の歴史」「解脱とわが人生」をテーマに日本の歴史や自身の体験などを交えた講話があった。その後、「健康指導を学ぼう」をテーマに堀川剛史教育部次長より三分間体操の基礎を学んだ。

3日目は、「家づくり、自分づくり」をテーマに西脇武利教育部次長による講話の後、太陽精神碑から始まり御霊地の各所を参拝した。午後の御五法修業の実修では、一人ひとりが先祖とのつながりを実感する貴重な体験を得た。夕食時は法友パーティーが行われ、工夫を凝らした食事を味わいつつ、各班提供のゲームなどで楽しく最後の夜を過ごした。

最終日は、感謝とお誓いのお百度で始まり、その後、「LET'S 青年部活動」の時間では、今年行われた「スタディツアー



2022in 東北」の報告と青年部活動の大切さ、夏に行われる三聖地巡拝錬成に向けて活動の意義を学んだ。また初日から練習を重ねてきた「よさこい踊り」が披露され、優秀賞やMVPにはトロフィーが贈られた。その後、「金剛さまへの誓い」として、一人ひとりが研修で学び取ったことや今後の目標などを発表した。閉講式では、家族写真と研修生の名前の由来に関するムービーが上映され、4日間にわたるプログラムは感激の中で終了した。研修生らは法友との再会を誓い合い、成長を遂げた面持ちで新たな人生に向かって各々の家路についた。

米国解脱教会・春季大祭

LA教会から2年ぶりにバス参加

第144回米国解脱教会春季大祭が4月10日にサクラメントの米国御霊地にて開催された。今回は2年ぶりにロサンゼルス教会から約30名が貸切バスにて参加し、大祭には総勢約100名が参列した。

当日は爽やかな天候に恵まれ、午前9時半より行われた第1部式典では、拝礼行事、金剛尊者のみ声拝聴、萬霊大供養が厳粛に執り行われた。続いて事前に録画された宮坂保徳教務局長の式辞が放送された。宮坂局長は「大自然の現象はすべて神の表現でありますから、一切を神として敬い尊び、謙虚に順応してゆくことが大切な心の学び」と述べ、真心による

天茶供養の実践や縁ある人の幸せを祈る重要性に触れつつ、感謝報恩の生活行に努めて友人を導き、社会貢献の道に進む大切さを強調した。続く第2部・柴燈護摩の儀は、瀬部明開教師を導師に不動明王前で厳修され、特に今回、ロシアとウクライナの紛争犠牲者への供養と早期解決の祈りが捧げられた。

終了後、瀬部明開教師は「世界平和への祈りをこれまで以上に強く意識してお使いいただいた。米国の守護霊、そしてロシアとウクライナを守護されている神々様に祈り、一刻も早く世界に真の平和が



献花をする女性会員（第1部式典）

訪れるようにとの願いを心から捧げた」と述べた。

大祭終了後は、会員からの厚意によるサンドイッチが配られ、青空の下で舌鼓を打ちながら、会員同士が2年ぶりの親交を深めた。



御灯を点す開教師（第2部式典）

健康指導担当員研修

担当員としての役目を再認識

3月20日、本部主催の教区健康指導担当員研修が「家庭の絆を深める健康指導」をテーマに、御霊地・解脱研修センターにて行われた。昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策として圏域ごとの開催となり、今回は東北地区・北関東圏域を対象に、健康指導委員1名、健康指導担当員6名が参加した。

午前10時開講。まず赤井貞三健康指

導担当員の先達で拝礼行事が行われた後、三浦純教育部長、滝沢寧健康指導委員がそれぞれ挨拶を述べた。

その後、班ごとに分かれて、「体位矯正法」の実習が行われ、参加者はそれぞれ支部、教区に活かせる健康指導のノウハウを学んだ。昼食後、足心道について堀川剛史教育部次長、津村和範教育部主任の指導のもと、基礎を再確認した。



続いて、「健康指導担当員の役目と活動について」をテーマに三浦教育部長より講話があり、参加者は役目について、改めて認識を深めた。最後に堀川教育部次長がコロナ禍により健康指導の重要性が増している昨今の状況にふれ、改めて役目の遂行を訴えた。

東京第1教区・天茶まつり

英霊に捧げる祈りと感謝



3月27日、東京第1教区では昨年同様、規模を縮小しつつ、天茶まつり（第59回靖国神社参拝及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑供養祭）を開催した。

午前10時より靖国神社拝殿前にて参拝行事が執り行われた。南新宿支部・相場史枝さんより、自身の体験を交えた英霊に捧げる言葉が読み上げられ、鼓笛隊による海ゆかばの演奏があった。その後、靖国神社の落合雅義禰宜より挨拶を賜り、靖国神社参拝を終えた。続いて千鳥ヶ淵戦没者墓苑へと場所を移し、六角堂前にて供養祭が開始され、鼓笛演奏、献花、献茶、献納の儀と進み、内藤憲一・東京第1教区長による諷誦文奏上の後、六角堂を囲んで撒き供養が行われた。その後、宇佐見光男東京地区協議会委員長、当墓園奉仕会の塚田章常務理事より挨拶があり、最後に高橋智也実行委員長の御礼の挨拶をもって終了となった。

東京第6教区・上野彰義隊供養

桜の下で真心からの供養

3月27日、東京第6教区では満開の桜の下、上野公園彰義隊墓所前にて第55回彰義隊供養及び上野戦争犠牲者供養を開催した。今年も新型コロナウイルス感染症対策を施し、各支部代表51名が参加した。



はじめに加藤英昭・東京第6教区長が開会の挨拶にて「コロナやロシア・ウクライナ戦争の1日も早い終息・終結のためには、世界平和を祈念して怨親平等供養を真剣にさせていただくことが大切である」と述べた。その後、教区長、各支部長による焼香、各支部代表6名による天茶の撒き供養とともに、全員で怨親平等供養を行った。閉会の挨拶にて大石邦雄担任部長は「一人ひとりが解脱のみ教えをしっかりと学び、怨親平等供養をみんなで実践していきましょう」と締めくくり、最後に参加者全員で焼香を行うと式は厳かに終了となった。

関西圏域・支部長研修

会員の幸せのために

3月27日、令和4年度関西圏域支部長研修会が関西道場にて行われ、54名が参加した。

まず始めに、参加者全員で泉涌寺の解脱金剛宝塔で挨拶をさせていただき、本日開催の支部長研修会が本会の発展、会

員の幸せ、支部の発展につながるようにと、金剛さまの御前で精進を誓った。

その後、関西道場にて関西圏域支部長研修会を開催。初めに出演の和田雅夫指導員より「支部長と関西圏域を活用して発展していけるよう共に学んでいきましょう」と挨拶があった。その後、現地への参加が難しい方向けにオンラインでも参加できるよう準備を進めることなど支部への支援、女性の活動について具



体的な話し合いが支部長同士で交わされ、有意義な支部長研修会となった。

道南教区・出講員研修

出講員としての使命と自覚を研鑽

3月19日、道南教区では札幌道場にて出講員研修会を開催した。例年では2月の開催だが、コロナ禍により本年は3月に開催となった。森下勇指導員が出講し、教区出講員ら11名が参加した。

参加者各位は、「出講員としての使命・自覚と役目の尊さ」をテーマに学びを深めた。研修前半では森下指導員が、本年度本部活動方針及び出講員としての使命の自覚・役目の尊さについて重要なポイ

ントを、自身の体験を織り交ぜながら分かりやすく講話、特に金剛さまに対する帰依心を強く持って心からお使いいただくことの大切さを強調した。

研修後半では、出講員としての基本的な事項である出講報告の意義及び報告書の内容について説明があった。

その後、研修会の感想や出講にあたっての疑問点について参加者同士で意見を



交わしながら互いに研鑽を積んだ。最後に、み教えの尊さを一人でも多くの人に伝えていくことをお誓いし、有意義な研修となった。

7月度研修のお知らせ 第165回健康学園コース



日程：7月30日(土) / 31日(日) <1日ずつ開催>
会場：御霊地・解脱研修センター
申込締切：7月1日(金)
※詳細は5月1日付の解発を参照ください。
お問い合わせ：解脱会教育部 健康指導・研修係
TEL：03-3353-3667 (教育部直通)
048-593-0190 (御霊地 健康指導室)
FAX：03-3353-3708 (教務局共通)

首都圏女性講座「かたばみ会」 のお知らせ

立教100年に向けて、改めて金剛さまの女性に向けたご指導に学びます。

今年は、金剛さまから直接ご指導を受けた女性の先生方のお勉強を現代に合わせて、本会常任理事・岩田豊美先生よりお話しいただきます。なお、当日の講座はインターネットを通じてライブ配信されますので、本会ホームページの会員専用ページからご覧ください。配信終了後も視聴することができ、過去の動画も視聴可能です。

講師：岩田豊美 常任理事
時間：13時30分～15時頃

開催日	内容
5月25日(水)	「川崎よね先生」
7月26日(火)	「松下みち子先生」
8月25日(木)	「廣川千恵子先生」
9月24日(土)	「特別公開講座・若い女性の集い」 (※10時～12時に開催)
10月26日(水)	「武前ヤエ先生」
11月25日(金)	「まとめ」 (金剛さまが女性に求めたものとは)

春季大祭ライブの視聴が簡単！

今回の大祭ライブ配信は、大祭当日(5/7、5/8)に限り、解脱会ホームページのトップページから視聴可能で、パスワードを入れずに簡単に見ることができます。スマートフォンは、ブラウザで「解脱会」を検索するか、右のQRコードからどうぞ。



↑ QRコード

解脱会ホームページ www.gedatsukai.org